

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 5 年 3 月 31 日

事業所名 ぷれみあむ原

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		規定以上の広さがある。(一人当たり2.47㎡)	広さは規定以上あり、個室やクールダウンする部屋も準備している。活用していない部屋をしっかりと活用していきたい
	2	職員の配置数は適切である	○		規定以上の職員を配置している。	児童指導員や保育士等を配置ししっかりと支援していける環境を継続していきたい
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	○		手すりや広さ、つかまり棒、点字ブロックなど設けている。	広さや手すりなど配慮しているが活用されていない部分があるためしっかりと活用していきたい
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○		全員でミーティングを行い、参加している。日々業務改善に繋がっている。	その日のスタッフ全員が参加しておこなっているが長期休みの際はどうしても短時間となる事はあるが引き続きしっかりと取り組んでいきたい。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		無記名、郵送用切手を貼り同封するなど意見が記載しやすいように配慮している。	期日が近くなるとメールなどで呼びかけているが、全員の回収が出来ていないことが今後の課題。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		ホームページにて公開している。	保護者様にもっと関心を持って見てもらえるよう呼び掛けていきたい
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	○		毎月デイチェックなどを行い、業務改善に努めている。	全体会議などで評価結果を報告し、今後も改善に努めていきたい
適切な支援の提供	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		毎月ごとに全体又は事業所で研修内容を決め、研修をしている。	受け身になる研修が多いためそれぞれ研修を受け持ってアウトプットする場を設けたい
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○		定期的にあセスメントを行い作成している。	日頃から保護者様との関わりをしっかりと持ち、課題やニーズが把握できるようにしていきたい
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○		標準化されたアセスメントシートを使用している。	児発管以外の職員がアセスメントシートを見る機会をもっと増やしていきたい
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	○		子どもの現状を話し合い、活動プログラムに反映させている。	毎日のミーティングで全員が発言しやすい環境作りを今後も行っていく
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		毎月活動表を作成し、季節ものを入れるなど固定化しないよう工夫をしている。	曜日や活動が固定しないよう工夫しているが保護者様のニーズもどんどん取り入れていきたい
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	○		時間に応じて内容を変え、活動を計画している。	長期休みなどは普段できない大がかりで時間のかかるテーマなども取り入れていきたい
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	○		お手先などの個別活動に加え、PDRなど集団活動も併せて取りいれている。	PDRでは今後、ノンバーバルの活動もリンクさせて行っていきたい
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		毎日ミーティングを行い、確認している。	打ち合わせでは、シュミレーション等も行い、本番でもしっかりと支援できる様準備している。今後も続けていきたい。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		毎日ミーティングを行い、改善点や子供の現状や課題について話し合い共有している。	必ず振り返りを行い、改善した方がよいことについては改善策を考えている。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		ミーティングを行い、必ず記録として残している。	記録を残し改善策を話し合っている。会議が長引いてしまう事があるので時間管理が必要。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○		定期的なモニタリングは必ず行い、見直し、計画を立てている。	児発管による見直し等はしっかりと行っている。ミーティングで今後も内容を確認しながら行っていきたい
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	○		ガイドラインに沿って支援を行っている。	今後も活動が偏らないように計画を立てていきたい。

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標	
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		適任者が参画し、記録として残し、事業所にて共有している。	主に児発管が行っている。今後もミーティング等で他の支援員にも周知し、特性把握などに努めていきたい。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	○		年間計画や行事などの情報はホームページから得ている。時間変更の際は保護者や担任よりその都度伝えてもらうようにしている。	前もって変則的な下校時間の際は調べるようにしているが、トラブルが起きた場合にすぐに連絡が取れる状態にしておくため、保護者にも呼びかけていきたい。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	○		発作等のある児童に対しては主治医、病院名を記載してもらい、対応法は保護者と話している。	今のところ医療的なケアが必要な子どもはないが、もしもの場合に備えて日頃から情報は集めておきたい。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	○		幼い児童の受け入れはほとんどないが、併用先の事業所等に対応法、現状、以前のことなど尋ねて情報を共有している。	保護者や他サービス事業所との共有はできているが保育所などと話し合いが出来ていないため共有していきたい。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	○		保護者の同意のもと共有している。	生活介護、就労施設等には保護者の同意のもと情報を共有しているが、申し出がない所に関しては少ない情報しか提供していないため確認をしていきたい
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○		必要に応じてケース会議などを行い、学校や機関センターの助言を受けている。	状態の悪い児童に関しては学校や機関を通して会議に参加するようにしている。今後も続けていきたい。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		○	行っていない。	withコロナになり、今後の地域交流を企画したい。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している		○	行っていない。	ゴミ拾い等を企画して練習している。地域参加の重要性を感じている。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		担当者会議、送迎時、電話等で共有している。	困っていることや課題などモニタリング以外でも保護者から情報を得るようにしている。
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている		○	行っていない。	ペアレントトレーニングは行っていないが、必要に応じて案内はしていきたい。	
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		契約時、運営規定や契約内容を説明し確認してもらっている。	契約時には必ず説明しているが、定期的に保護者に開示していきたい。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		その都度実施。支援方法に反映させている。	調べることがあれば調べて回答、支援が必要であればミーティングでも話し合うようにしている
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	○		コロナにより全員を案内することではなく必要に応じて対象学年等に案内し保護者会を開いている。	必要に応じてあまり大人数にならないように行っているが、今後全体での開催も考慮していきたい
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○		苦情対策委員会を発足し、保護者からの苦情にたいして迅速に対応できる体制を整えている。	苦情の際の電話番号を契約時に渡し、入り口にも設置しているが保護者にもっと周知していきたい
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		毎月発行し、活動内容や予定、子ども達の日常の様子がわかるようにしている。	お知らせやお願いなど会報等伝えているが、大切なことは併せて送迎時にも伝えるようにしている。
	35	個人情報に十分注意している	○		鍵付きのキャビネットに保管し、注意して取り扱っている。	ファイル等整理し、今後も管理を怠らないようにしたい
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		メールや電話が24時間つながるようにしている。	電話が苦手な保護者様の場合もメールにて意思疎通できるように、など今後も配慮を続けていきたい
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		○	行っていない。	バザーなどを行い、地域住民との関わりを図っていきたい。

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
非常時等の対応	38 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	○		マニュアル一覧を策定し、定期的に研修を行っている。	マニュアルを策定し、職員間では定期的に研修を行っているが保護者にはなかなか周知浸透できていないのが課題。
	39 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		毎月子ども達を交えて避難訓練を行い、外部からも年二回来てもらい職員のための研修もしている。	新聞等で報告することにより、以前よりは周知できるようになってきたため今後も続けていきたい。
	40 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		定期的に研修を行い、意識の向上に努めている。	定期的に行っているが、各人が研修を実施する側になり、個々の意識をより高めていきたいと思う。
	41 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	○		契約時、保護者に説明をしている。やむを得ず身体拘束を行わなければならない場合は保護者に説明し、その都度ミーティング用紙に記載するようにしている。	児童に危険が伴う場合にはやむを得ず身体を拘束することがあり、その旨保護者に伝えることになっている、
	42 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○		契約時確認を行い対応している。	保護者に確認し、アレルギーの対処をしていきたい
	43 ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		毎月ヒヤリハット検討会を行い、共有している。	検討会を行う事により、より具体的な改善案がでるようになった